

美術館教育普及活動支援事業

子どもから大人までを対象に、アートを活用した「ラーニングプログラム」を支援・実施しました。

1. 子ども用鑑賞シート完成

昨年度の十和田地区保育研究会・十和田市私立幼稚園協会合同研修から手がけた、子どもたちにより作品鑑賞を楽しんでもらうための補足ツール、子ども用鑑賞シート「び（っくり）じ（っくり）ゆ（っくり）つ（いつい）かん（がえちゃう）BOOK」が完成しました。完成後は各園の先生方が集まり、実際に園児を対象とした鑑賞ツアーを実施しました。



2. がっこう⇄ゲンビ おでかけバス

市内小中学校の児童・生徒を対象に、当会が用意した無料バスでご来館いただき、作品鑑賞、および創作ワークショップを体験するプログラムを行いました。「美術館を巡ってアートを着よう！」をテーマに、常設展の作品を鑑賞し、作品からイメージした絵を描いたり、テープを貼ったりして、透明のレインコートを使った作品を完成させ、ファッションショーを行いました。

① 十和田市立ちとせ小学校 1 年生 1 組（児童 26 名、引率 2 名）

日時：令和 2 年 1 月 30 日（木）9：00-12：00

会場：常設展示室、市民活動スペース、休憩スペース（カフェ）

② 十和田市立ちとせ小学校 1 年生 2 組（児童 25 名、引率 2 名）

日時：令和 2 年 1 月 31 日（金）9：00-12：00

会場：常設展示室、市民活動スペース、休憩スペース（カフェ）

③ 十和田市立四和小学校 3～4 年生（児童 16 名、引率 2 名）

日時：令和 2 年 3 月 6 日（金）9：00-12：00

→新型コロナウイルスの影響により中止



3. 十和田地区保育研究会・十和田市私立幼稚園協会合同研修

昨年に引き続き、十和田地区保育研究会・十和田市私立幼稚園協会と協力して、美術館を活用した合同研修を実施しました。「幼児教育」と「鑑賞」をテーマに、3日間の研修を行い、約30名が学びを共有しました。今回は、美術館常設展に使用する子ども用鑑賞シート「び（っくり）じ（っくり）ゆ（っくり）つ（いつい）かん（がえちゃう）BOOK」を元に、子どもたちとどのように作品を鑑賞し美術館を楽しめば良いか、実践を踏まえて意見交換を行いました。

1日目：2月3日（月）14：00-16：00

常設展示「スタンディング・ウーマン」をテーマに、対話型鑑賞・スケッチ鑑賞・からだ鑑賞の3種類の鑑賞方法を体感することで、それぞれ複数の解釈が同時に存在し、それと向き合うことの面白さへの気づきを促す。最後には2グループに分かれ、チーム全員で作品のイメージを体全体で表現しました。





講師：佐藤 悠

1985 年 三重県生まれ。

東京芸術大学大学院先端芸術表現博士課程修了。

「伝える」ことをテーマに、発話、対話を伴う表現を行なっている。

主な活動に1枚の紙に絵を書きながらその場にいる全員で即興で物語を作る「いちまいばなし」、特筆すべき物が何も無さそうな僻地に赴き、現場を半ば強引にレポートしてゆく「やけくそさんぽ」シリーズ、知ったかぶりになる程度の美術史を伝えるトークシリーズ「知ったかアート大学」などがある。近年は鑑賞行為に興味を持ち、複数の美術館で独自の鑑賞プログラムの実践を行なっている。

2日目：2月16日（日）14：00-16：00

1日目の振り返りとして佐藤悠氏とスカイプでつなぎ、子どもと鑑賞することについて意見を交わしました。その後、昨年度の本プログラムの成果物である子ども用鑑賞シートを使ったロールプレイング形式（グループに分かれ、子ども役・先生役になった）での鑑賞の実践をし、そこから感じたことを話し合いました。



3日目：2月17日（月）10：00-12：00

前半は貸切の常設展示室を自由にまわりながら、子どもたちと実践できる「ゲンビのたのしみかた」を考えて発表してもらいました。後半はカフェで日頃悩んでいることや考えていることを共有し、園の垣根を越えて具体的な打開案を出し合いました。



十和田市現代美術館 の「たのしみかた」

アイデアのタイトル

場所

使う物

たのしみかた

※絵や文をつけて、「たのしみかた」を載せてください

なまえ

今年度メンバー特典事業 ※実費会員負担

メンバー特典として、常設展の年間入場が無料となるメンバーズカードや企画展のオープニング・レセプションへの招待状を贈呈。会員同士の交流を図るためのメンバー限定のプログラムを実施しました。

1. パートナーズ交流会

法人・個人会員に活動報告（前年度決算報告、本年度予算報告）を行うとともに食事をしながら会員同士の親交を深めることを目的とした交流会を開催しました。小池一子館長(当時)を囲み、本年度ツアーの方面、TAPSの活動軸を教育関連プログラムとして進めることなどを決め、会員増強の協力を仰ぎました。

日時：2019年7月26日（金）11:00 - 12:30

会場：休憩スペース（カフェ）

参加人数：TAPS会員7名、美術館スタッフ3名



2. プレミアムアートツアー

「小池館長とゆく！ 大注目の芸術祭をめぐる3泊4日スペシャルツアー」

注目度は高いが、遠方かつ船での移動が必須ということで、個人観覧としては難易度が高い瀬戸内国際芸術祭と岡山芸術交流。TAPSでツアーを組んでほしいという会員の強い要望から実現に至りました。

チャーター船を有効活用し、オリジナリティー溢れる充実した旅となりました。

日時：令和元年 10 月 22 日（火）～10 月 25 日（木）

参加人数：13 名

コース

■ 1 日目／十和田市～青森空港～高松空港～犬島（犬島精錬所美術館）～ホテルクレメント高松（泊）

■ 2 日目／ホテル～直島（ベネッセハウスミュージアム・地中美術館等）～小豆島（迷路のまち 目【me】）～女木島～ホテルクレメント高松（泊）

■ 3 日目／ホテル～豊島（豊島美術館・横尾館等）～高松～岡山～岡山国際ホテル（泊）

■ 4 日目／ホテル～岡山芸術交流～岡山桃太郎空港～青森空港～十和田市



3. TAPS メンバーによる新春呈茶会

TAPS 有志の協力の元、新春を祝う呈茶会を開催した。お茶会の経験がない方や海外の方も気軽に参加してくださいました。休憩スペース床面に広がるマイケル・リンの作品の上で雅やかな時間をお過ごしいただきました。

日時：令和 2 年 1 月 3 日（金） 10:00 – 13:00 ※お茶菓子がなくなり次第終了

会場：休憩スペース（カフェ）

参加人数：86 名

